

## 外務・貿易省

### TPPに関する日本の決定をオーストラリアは歓迎

#### メディア・リリース

2011年11月11日

本日、クレイグ・エマソン貿易大臣は、日本が環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の交渉参加に関心を表したことを高く評価すると語った。

日本を含めると、欧州連合(EU)の市場より40%大きな地域市場を形成することになる。

オーストラリアは包括的で高いレベルのTPP合意を目指していると、エマソン大臣は述べた。

TPP合意はオーストラリアの国益に適うことが重要である。

エマソン大臣は、「日本や我々の現在のTPPパートナーと共に、日本の交渉参加に向かって取り組むことを楽しみにしている」と述べた。

「世界第3位の経済大国が野心的な事業に意欲を示したことは極めて建設的な進展である」と大臣は語った。

「日本の人々や経済に多大な打撃を与えた自然災害の直後だけに、日本のTPPへの取り組みは心強い」とエマソン大臣は述べた。

大臣は、TPPがアジア・太平洋地域の貿易自由化に向けたビルディング・ブロック（石積み）を築く可能性があると語った。

「TPPはオーストラリアが目指す世界の貿易自由化への取り組みに寄与する」とも述べた。

「エマソン大臣は、オーストラリア政府がTPPの様々な点で政府の立場を築くためにビジネス業界、労働組合、地域グループと密接に協議を続ける」と語った。

TPPは伝統的な貿易協定を越えて、貿易や投資の障害となる国内障壁にも取り組む。現在のTPP加盟国はオーストラリア、ブルネイ、チリ、マレーシア、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、アメリカ、ベトナム。